

アルピタMH

取付説明書 — レール・ノンレールタイプ —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工完了後「取付説明書」および同梱の「安全上のご注意・伸縮門扉」をキー（2本）とあわせて施主様にお渡しください。

門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。

<伸縮門扉>

■施工上のご注意

- 商品の施工については必ず取付説明書にしたがってください。
- 扉走行床面は水平に仕上げてください。
- 施工完了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

■使用上のご注意

- 製品の破損などによる体の損傷等のおそれがありますので、以下の使い方を守ってください。
- 通常使用されない場合は必ず施錠してください。また、落し棒の付いている商品は落し棒も同時に降ろしてください。
- 開閉の時は必ず落し棒を上げてから操作してください。
- 開閉時は手足・衣服等を挟まないよう、注意してください。また、人・物等の障害物がないことを確認してください。
- 扉に物を載せないでください。
- 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

■梱包明細表

① 本体セット（レールタイプ）

名 称	員 数									
	330 (325)	380,425	530,630	735	825		925		1030	
					A	B	A	B	A	B
本体（掛または受側）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
転倒防止金具	4	6	8	10	6	6	6	6	8	8
本体連結金具	—	—	—	—	—	4	—	4	—	4
M6×25十字穴付六角ボルト（座金付）16本入	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1
M5×8十字穴付六角ボルト（座金付）	8	12	16	20	12	12	12	12	16	16
落し棒受けパイプ	4	4	4	4	4	—	4	—	4	—

② 本体セット（ノンレールタイプ）

名 称	員 数									
	330 (325)	380 ~630	735	825		925		1030		
				A	B	A	B	A	B	
本体（掛または受側）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
本体連結金具	—	—	—	—	4	—	4	—	4	
M6×25十字穴付六角ボルト（座金付）16本入	—	—	—	—	1	—	1	—	1	
落し棒受けパイプ	4	6	8	6	4	6	4	6	4	

③ 柱セット

名 称	員 数	
	片開き	両開き
戸当り柱	1	—
吊元柱	1	2
M8×20六角ボルト（座金付）16本入	1	1
取付説明書	1	1
安全上のご注意（取扱説明書）	1	1

④ 埋設部品

名 称	員 数	
	レール用	ノンレール用
柱取付金具	2	2
柱ブラケット	4	4
キャストストッパー	2	—
レール取付金具	4	—
レール掃除器具	1	—
M8×20六角ボルト 4本入	3	2
M8六角ナット 4個入	3	2
M5×10ナベ 4本入	1	—
M8×70アンカーボルト 2本入	1	—

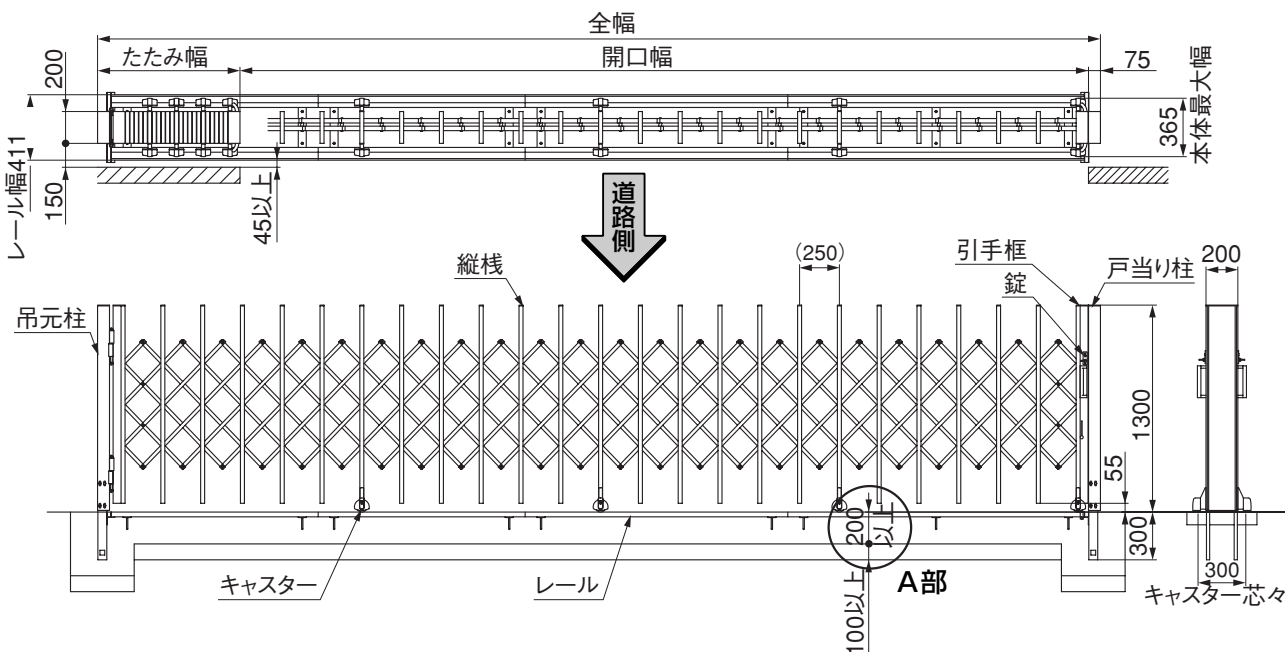
⑤ レールセット

名 称	員 数
レール	1
レールジョイントA	2
レールジョイントB	2
M5×10ナベ 4本入	2
M8×70アンカーボルト 2本入	2

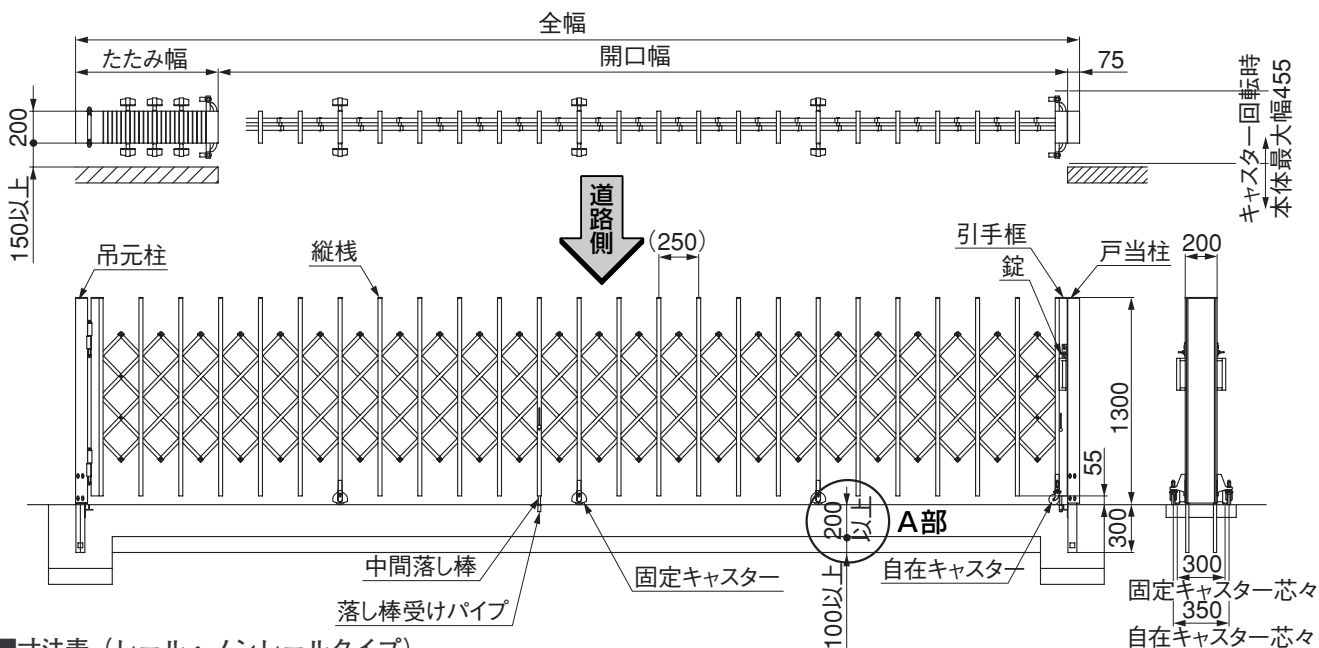
1. 各部の名称および基本寸法

1-1 片開き ※A部寸法は、現物の状況（地盤・重量物通過の有無等）に応じて深さおよび配筋等を考慮してください。

(1) レールタイプ ※本図は630Sを示します。



(2) ノンレールタイプ ※本図は630Sを示します。



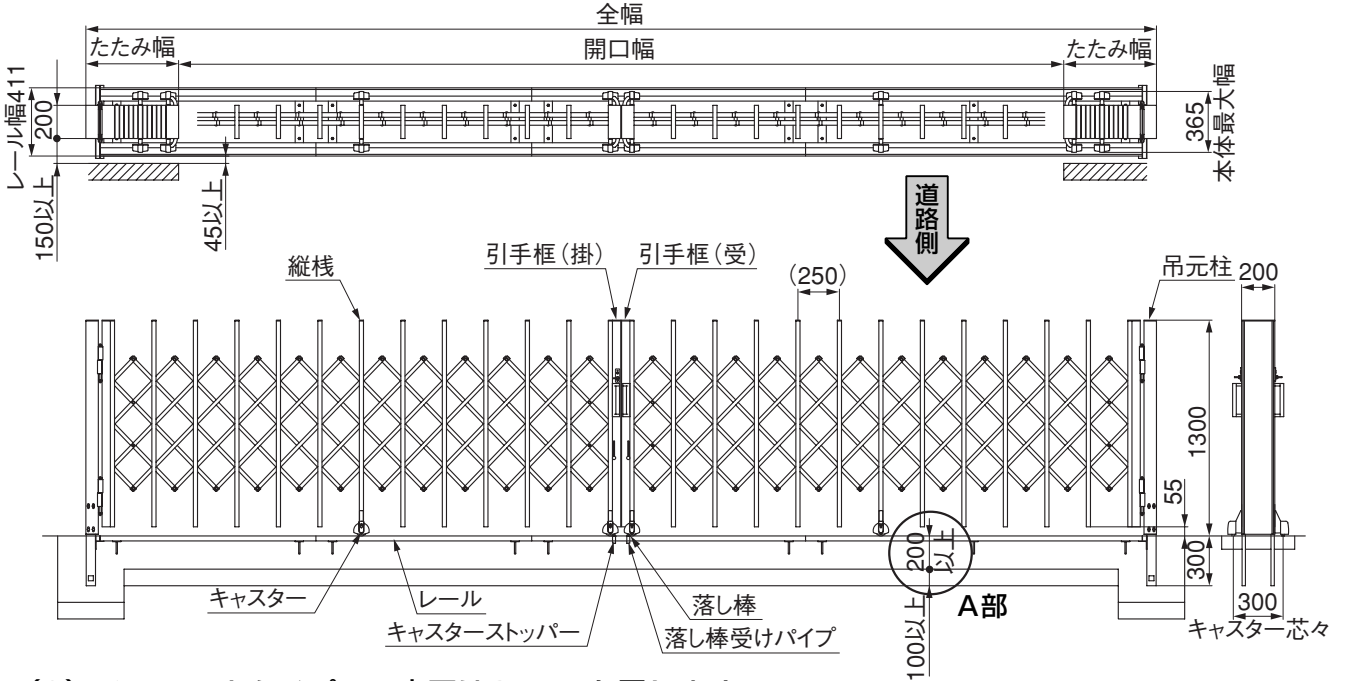
■寸法表（レール・ノンレールタイプ）

呼称	開口幅	全幅	たたみ幅	本体組合せ	レール	キャスター数
330S	2655	3290	560	330	130+180	2
380S	3100	3790	615	380	180×2	3
425S	3485	4230	670	425	202×2	3
530S	4450	5310	785	530	130+180+202	4
630S	5400	6370	895	630	130×2+165+193	4
735S	6250	7330	1005	735	130+180+202×2	5
825S	7035	8270	1160	825A+825B	202×4	6
925S	7915	9260	1270	925A+925B	130+180+193+202×2	6
1030S	8830	10290	1385	1030A+1030B	202×5	8

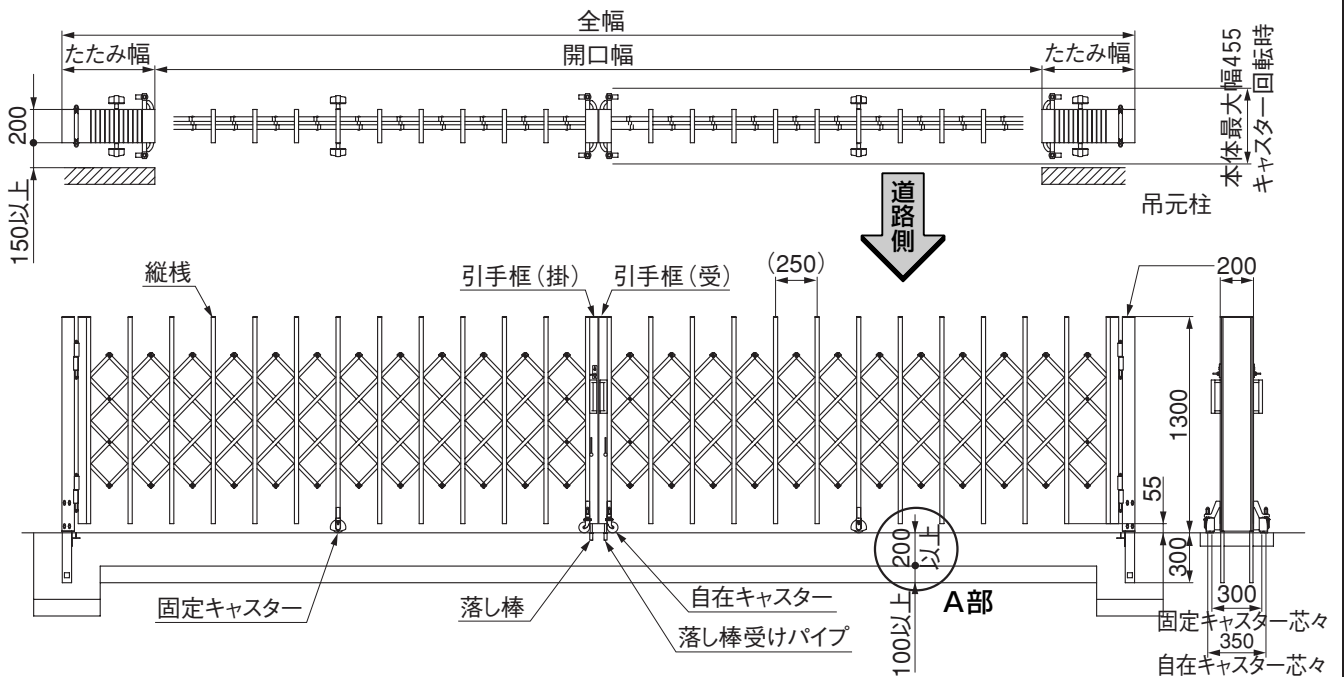
1. つづき

1-2 両開き ※A部寸法は、現物の状況(地盤・重量物通過の有無等)に応じて深さおよび配筋等を考慮してください。

(1) レールタイプ ※本図は645Wを示します。



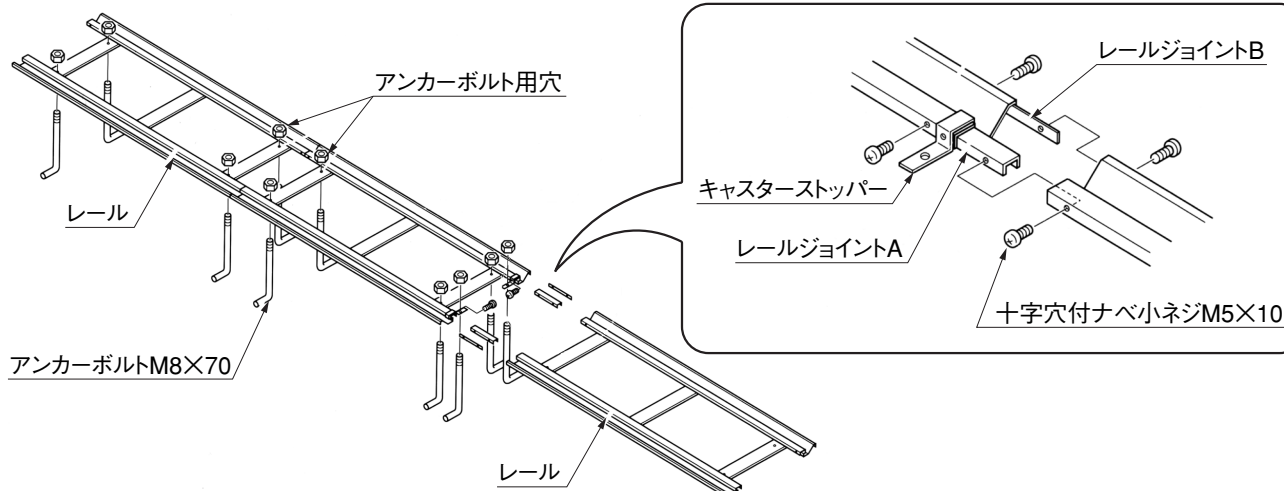
(2) ノンレールタイプ ※本図は645Wを示します。



■寸法表 (レール・ノンレールタイプ)

呼称	開口幅	全幅	たたみ幅	本体組合せ	レール	キャスター数
645W	5320	6440	560×2	330(掛)+325(受)	130×2+165+202	4
840W	7030	8370	670×2	425×2	130×2+165+193+202	6
1045W	8840	10410	785×2	530×2	130×2+180×2+202×2	8
1245W	10620	12410	895×2	630×2	130×2+165+193+202×3	8
1445W	12420	14430	1005×2	735×2	130×2+165+193+202×4	10
(330+630)W	7915	9370	560+895	330+630	130+193×2+202×2	6
(330+735)W	8845	10410	560+1005	330+735	130×2+180×2+202×2	7

2. レールの連結

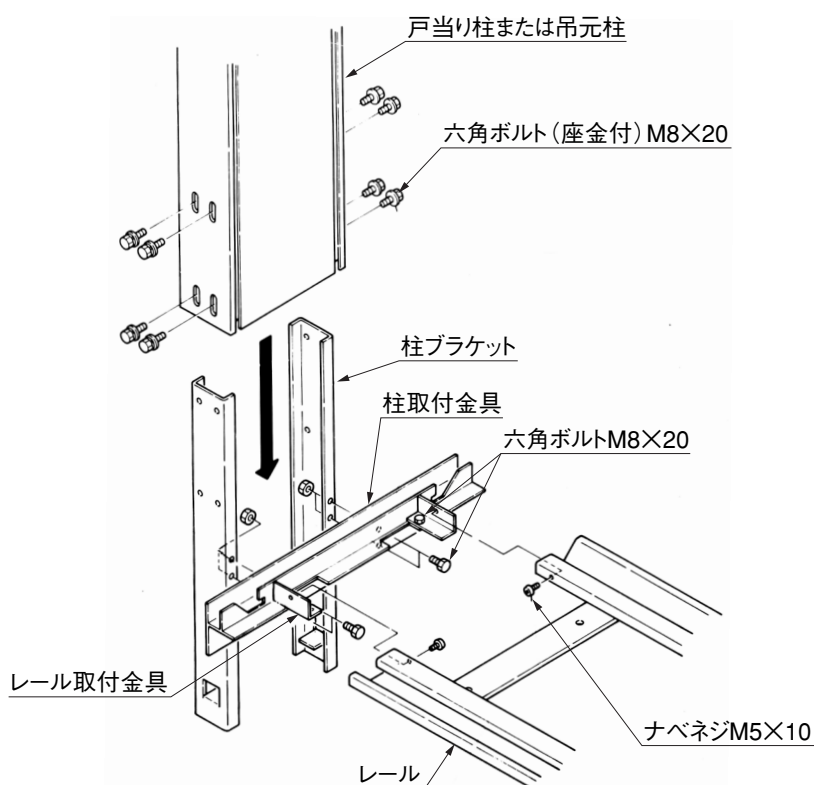


- ① レールの基礎コンクリートを前後の通路より厚くできるように、設置場所の土砂を取除いてください。

<注意>

- 現場の状況（地盤、重量物通過の有無等）に応じて、基礎の深さおよび配筋等を考慮してください。
 - 高さを調整して水平を出してください。
- ② レールジョイントを使ってレールを継いでください。
 - ③ レールの各穴にアンカーボルトを取付けてください。
 - ④ 両開きの場合は、レールのセンターにキャストーストッパーを取付けてください。

3. レールタイプの戸当り柱、吊元柱の取付け

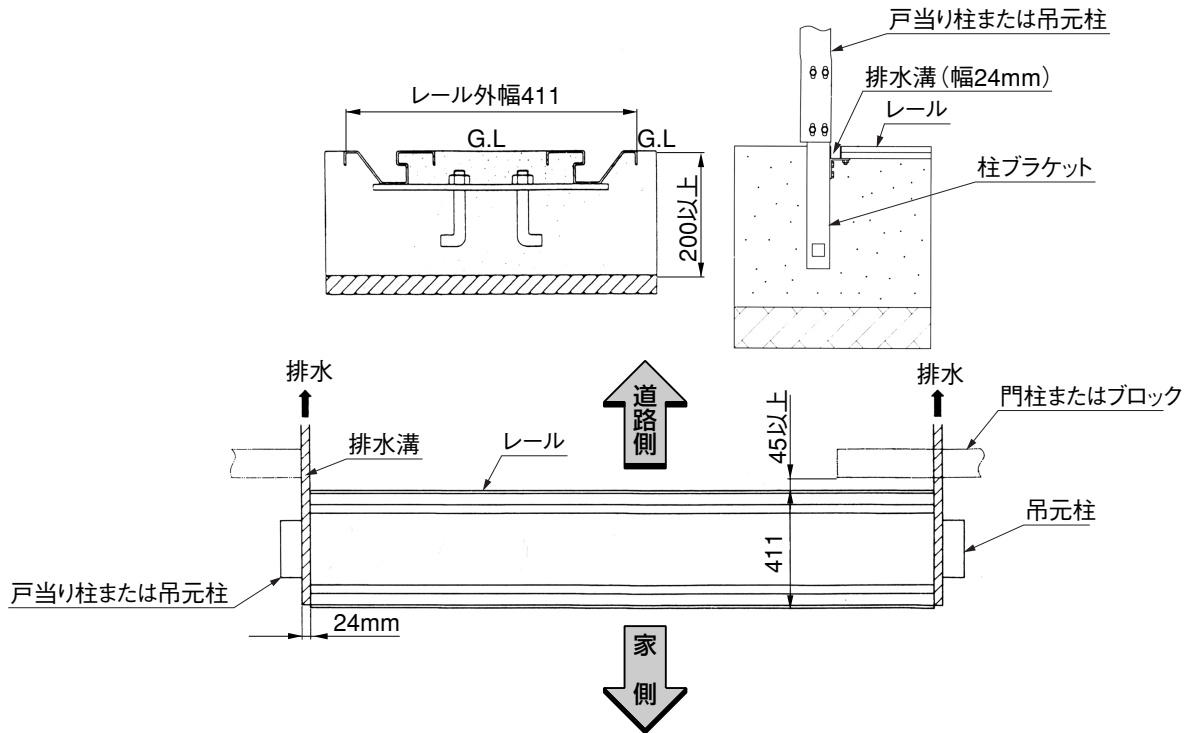


- ① 柱取付金具に六角ボルト(M8×20)でレール取付金具を取付けてください。
- ② 柱取付金具に柱ブラケットを取付けてください。
- ③ レールにレール取付金具を差込み、レールと接続してください。
- ④ 戸当り柱、吊元柱を柱ブラケットに固定してください。

<注意>

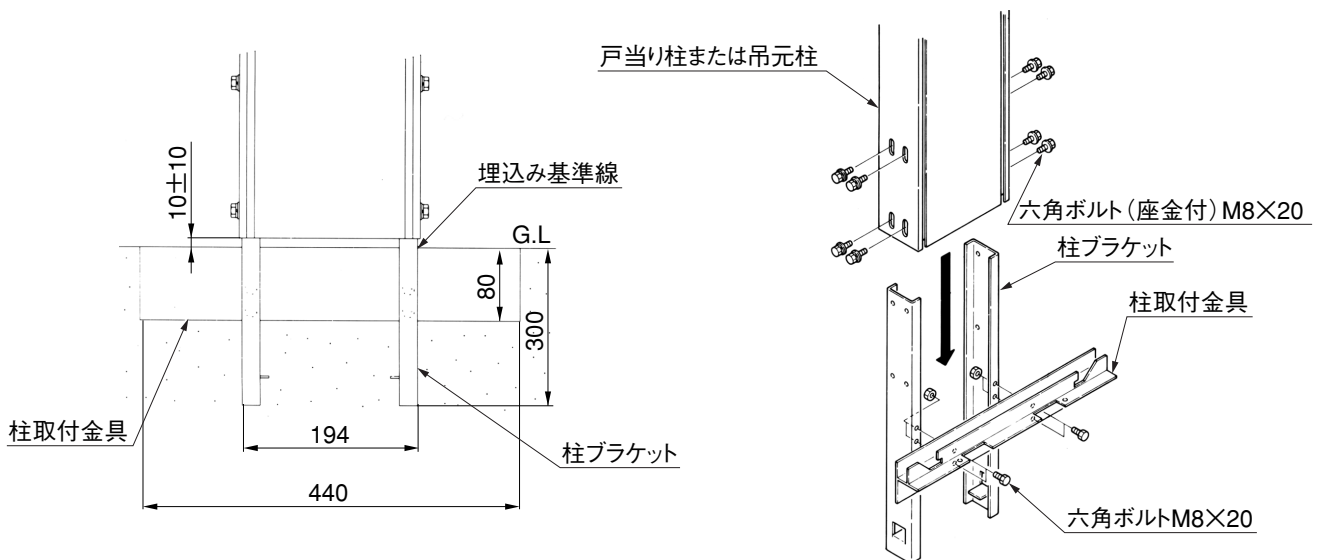
- 水糸を張って、レールの継ぎ目の曲がりやすき間をなくしてください。
- 戸当り柱、吊元柱とレールの垂直と平行を確かめてください。

4. レールの埋設



- ❶ 基礎コンクリートの厚さは、少なくとも前後の通路以上にしてください。
- ❷ レールの下に、モルタルをよく突き込んでください。
- ❸ レール端部と柱ブラケットの間には排水溝を設けてください。

5. ノンレールタイプの戸当り柱、吊元柱の埋設

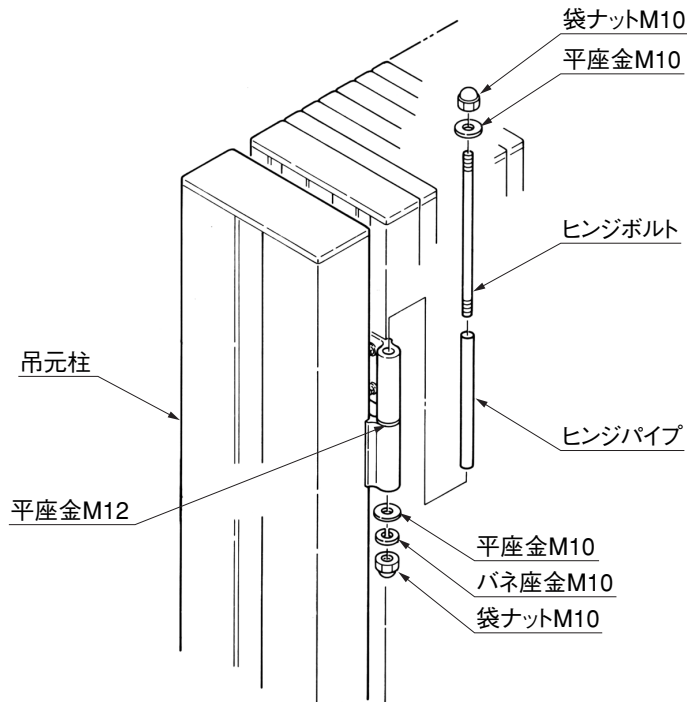


- ❶ 柱取付金具に柱ブラケットを取付けてください。
- ❷ 戸当り柱、吊元柱を柱ブラケットに固定してください。
- ❸ 「1.各部の名称および基本寸法」を参考に柱の埋込み位置を決定し、柱取付金具の上面がG.L.に合うように柱ブラケットを埋込んでください。

<注意>

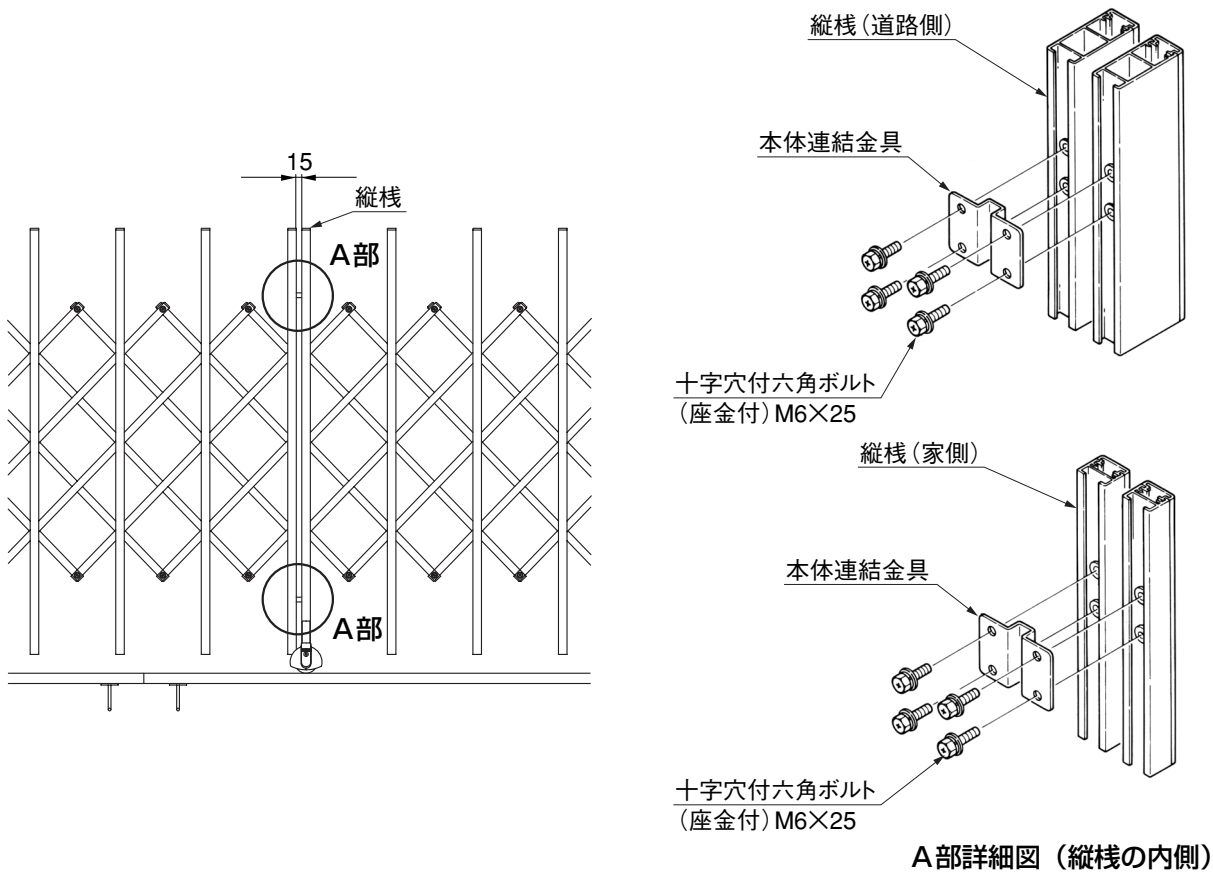
- G.L.は必ず水平に施工してください。

6. 本体の取付け



① ヒンジボルトで本体を吊元柱に取付けてください。

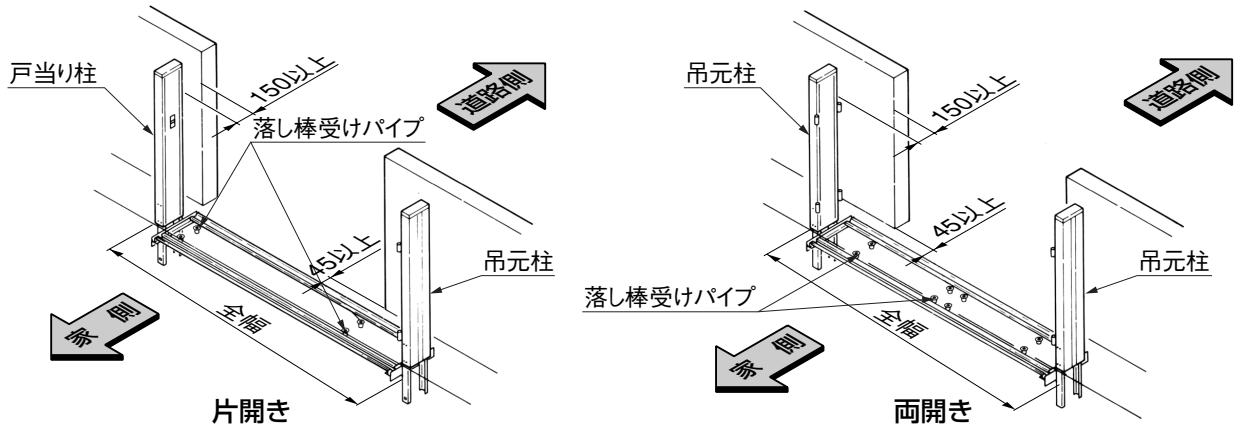
7. 本体の連結 ※825S以上の場合



① 上図の要領でしっかりと固定してください。

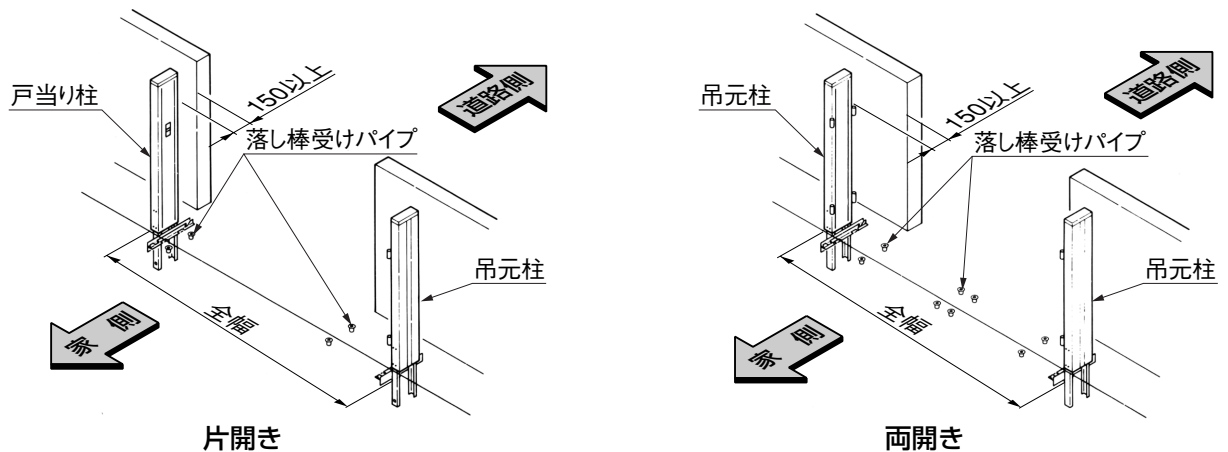
8. 落とし棒受けパイプの埋設位置

8-1 レールタイプの場合



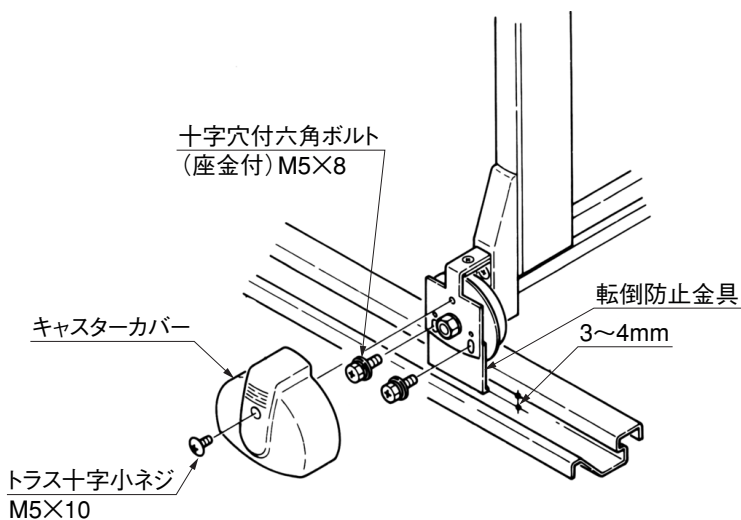
- ❶ 落とし棒受けパイプは、扉を全閉(施錠)した位置および全開した位置にあわせて埋設してください。

8-2 ノンレールタイプの場合

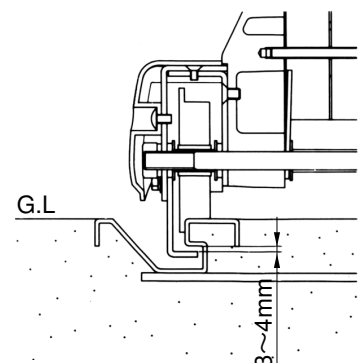


- ❶ 落とし棒受けパイプは、扉を全閉(施錠)した位置および全開した位置にあわせて埋設してください。

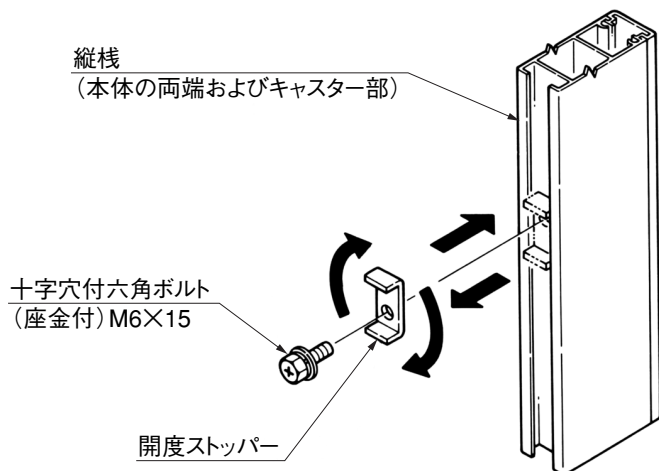
9. 転倒防止金具の取付け ※レールタイプの場合



- ❶ キャスターカバーを取りはずし、転倒防止金具を取付けてください。
- ❷ レールとの間隔を3~4mmに調整し、再びキャスターカバーを取付けてください。



10. 開度ピッチの取付け

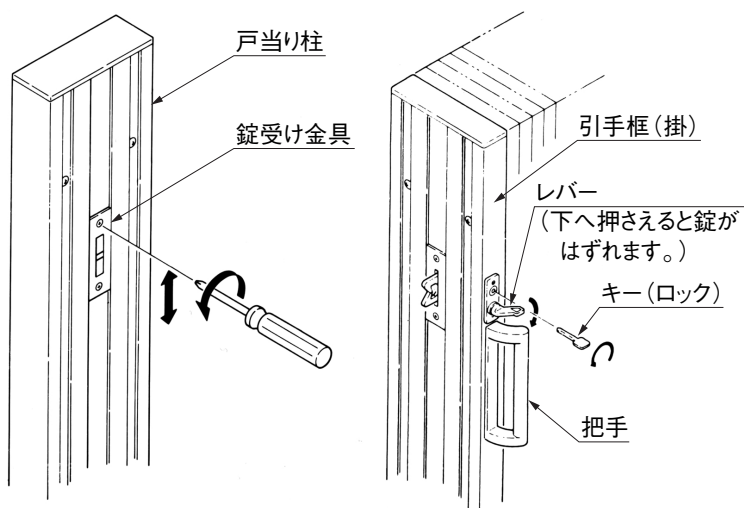


- ① 開度ピッチを縮めたい場合は、左図の要領で開度ストッパーを上・下逆につけかえてください。開度ピッチが250→240mmになります。

<注意>

- 開度ストッパーの変更は同一枠体内の両端およびキャスター部縦棧のすべてについて実施してください。

11. 錠の操作方法



- ① 引手框(掛)と引手框(受)または引手框(掛)と戸当り柱を合わせてください。(自然に施錠されます。)

<注意>

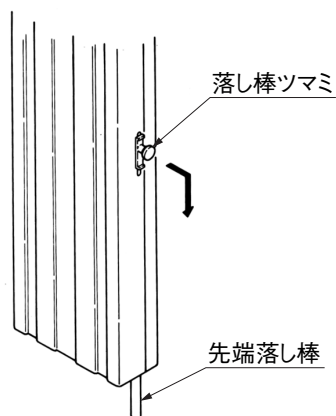
- キーロックされません。
- ② 扉を開く時は、レバーを下に押えた状態で把手を引いてください。

<注意>

- 錠金具はキー付ですので、キーロックをする時は、キーをキー穴に差込み、90°回してください。
- 錠受け金具は上下各10mmの高さ調整が可能です。

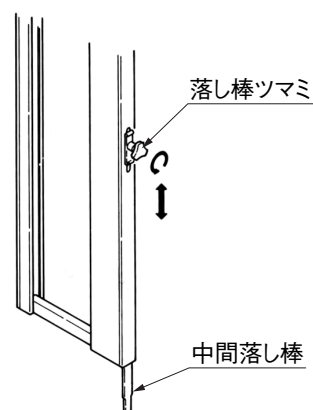
12. 落し棒の操作方法

12-1 先端落し棒



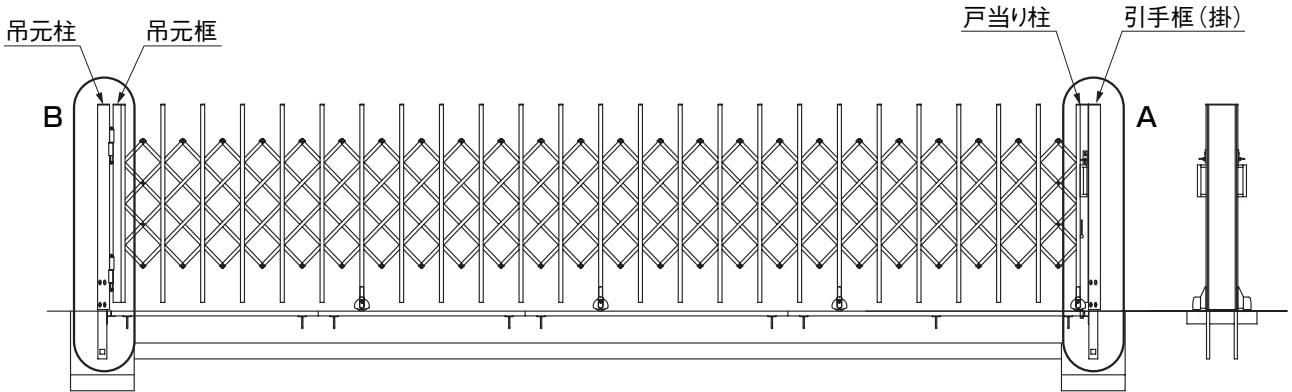
- ① ツマミを手前に引いて上下に動かしてください。

12-2 中間落し棒 (ノンレールタイプの場合)



- ① ツマミをゆるめて上下に動かしてください。

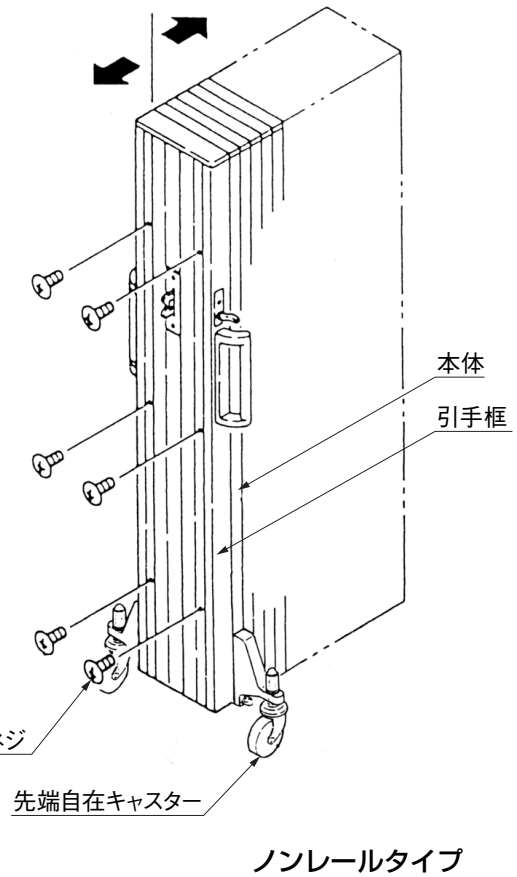
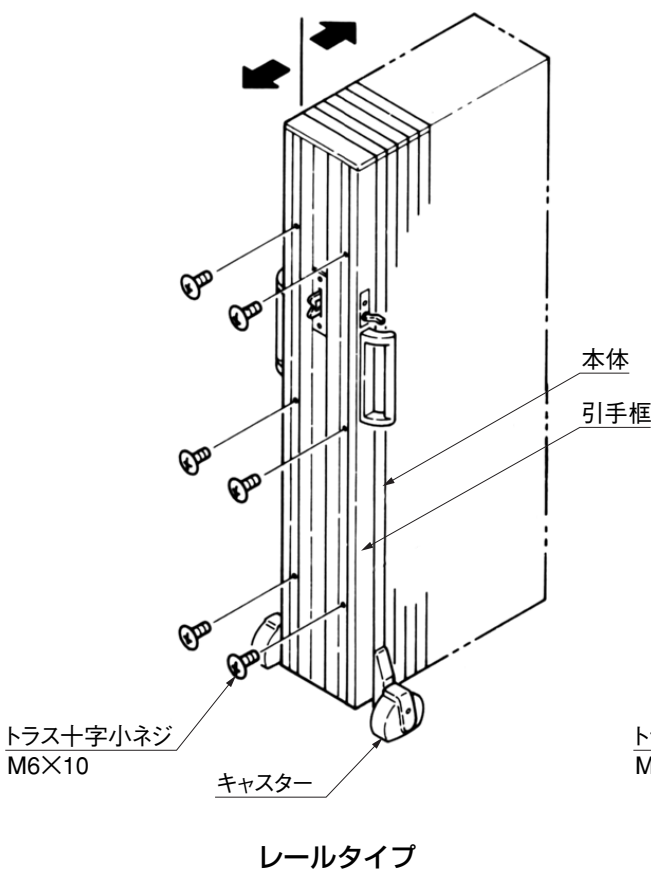
13. 本体の左右勝手変更



<注 意>

- 図は道路側から見た場合を示します。

13-1 引手框と吊元框のつけかえ (A部↔B部)

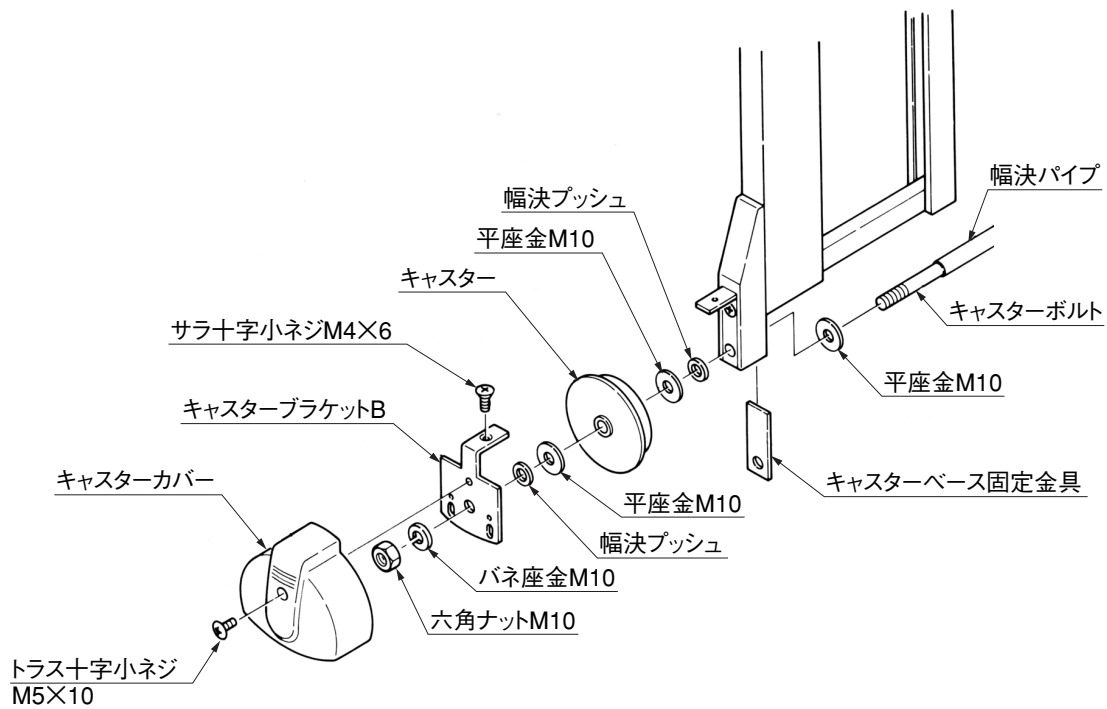


- ① 本体から引手框および吊元柱を取りはずしてください。
- ② 先頭のキャスターまたは先端自在キャスターをつけた後、反対の位置に再び取付けてください。

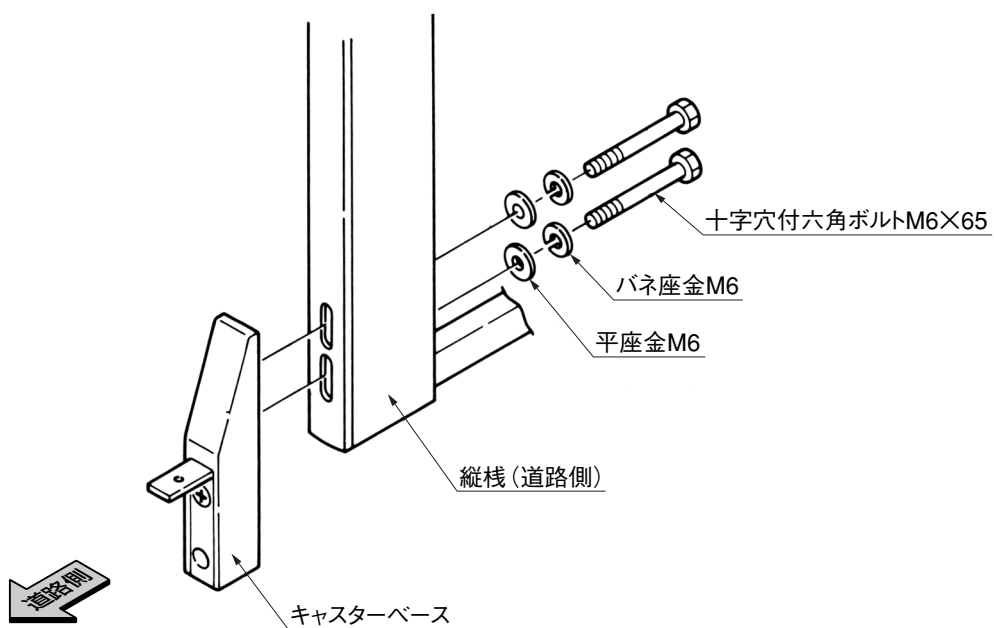
13. つづき

13-2 キャスターのつけかえ (A部→B部)

(1) レールタイプの場合

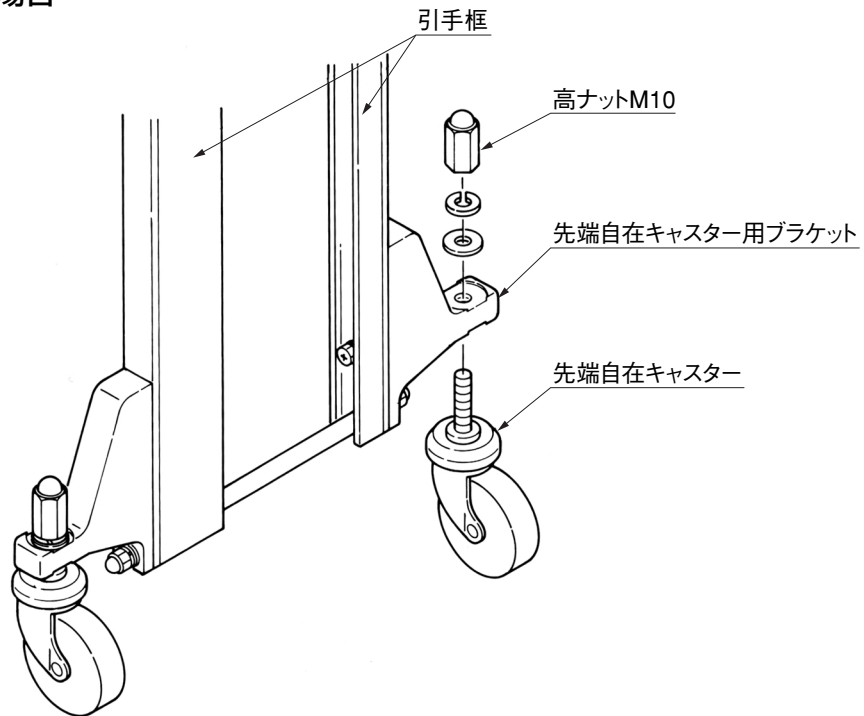


- ① 引手框連結キャスター部のキャスターカバーをはずし、M10六角ナットをゆるめてキャスターブラケットBおよびキャスター部を取りはずしてください。

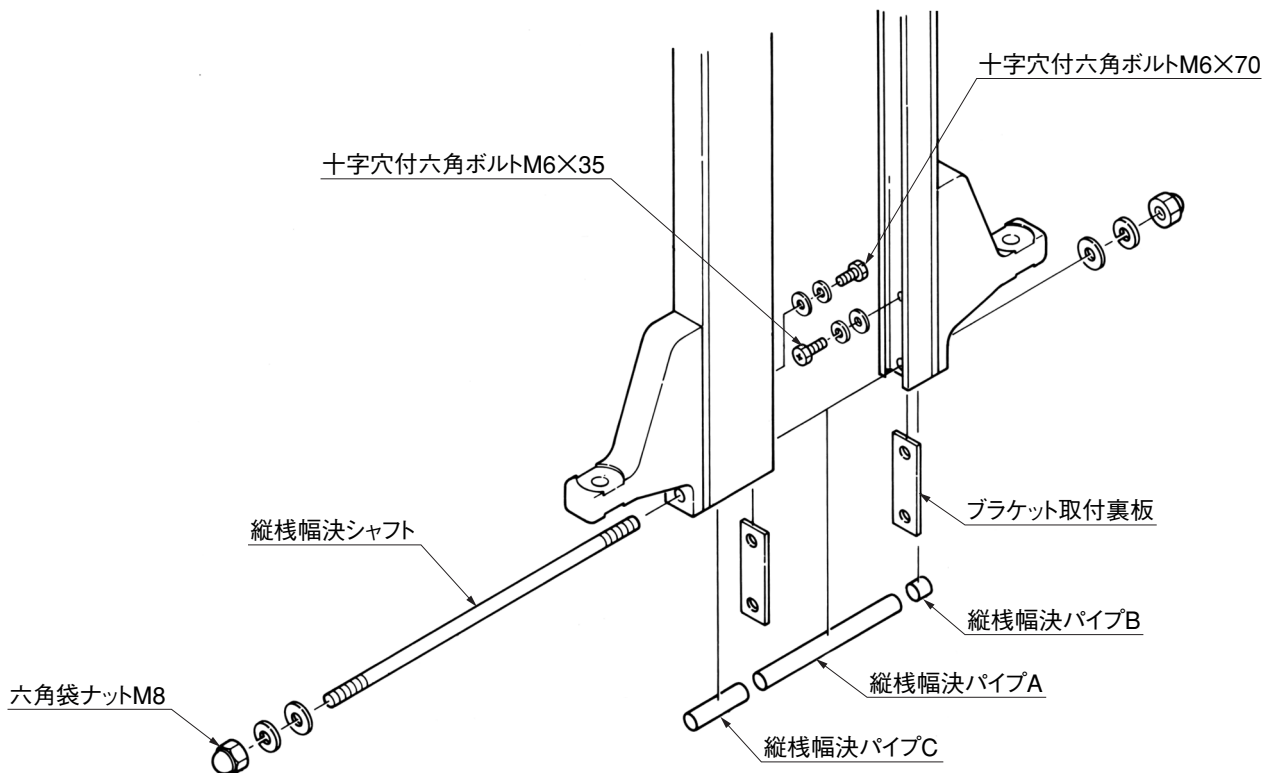


- ② 引手框連結キャスター部のキャスターベースを取りはずし、家側も同様に行なってください。

(2) ノンレールタイプの場合



- ① 引手框連結部の高ナットM10を取りはずし、先端自在キャスター用ブラケットより、先端自在キャスターを取りはずしてください。

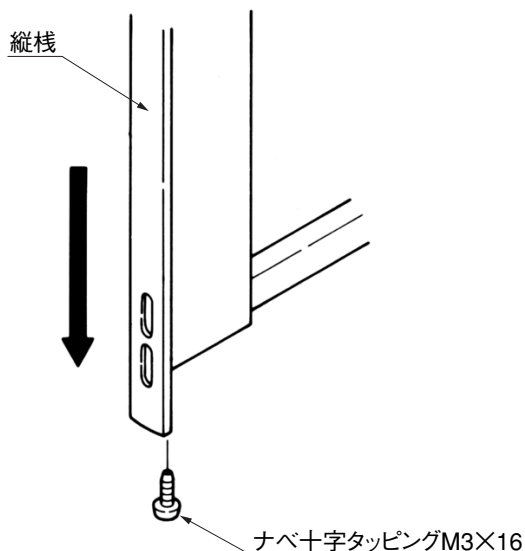


- ② 六角袋ナットM8を取りはずし、縦棧幅決シャフトを引き抜き、縦棧幅決パイプ、ブラケット取付裏板および十字穴付六角ボルトM6を取りはずしてください。

13. つづき

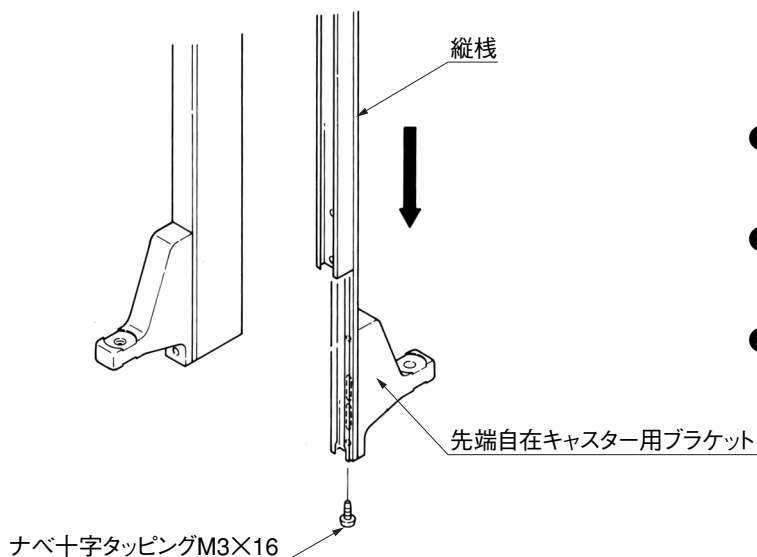
13-3 カバーのつけかえ (A部→B部 B部→A部)

(1) レールタイプの場合



- ① 縦棧下面のナベ十字タッピングネジをはずし、縦棧カバーを引き抜いてください。
- ② A側とB側のカバーを交換して取付けてください。
- ③ はずした時と逆の要領でB側にキャスターを取付けてください。

(2) ノンレールタイプの場合



- ① 縦棧下面のナベ十字タッピングネジをはずし、縦棧カバーを引き抜いてください。
- ② A側とB側のカバーを交換して取付けてください。
- ③ はずした時と逆の要領でB側に先端自在キャスターを取付けてください。

工事店様へ

- 吊元門柱、受門柱の垂直を出して施工してください。
- 組付け完了後、ボルト、ナット類の締め具合を確認してください。
- 施工時、本体に付着したコンクリート等は硬化前に完全に拭き取ってください。
- 施工終了後、扉の開閉に異常がないか、確認してください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

Z083

200102A
200204B_1007